



# ヒガンバナ号

## 《私が子どもだった頃》 代表 山田陽治

保育園年長の時（昭和51年）に、杉の谷戸（大道2丁目5番地及び6番地…小泉又次郎  
 誕生地石碑の奥）に引っ越しました。谷戸の奥に階段があり、そこを上ると湘南八景（東  
 朝比奈）が宅地造成したばかりで草が広がっていました。今思えば、トノサマバツタだ  
 ったのか？クルマバツタだったのか？それともクルマバツタモドキだったのか…跳躍力  
 のあるバツタを追いかけ回したり、雨が降って水たまりができると、ヒメゲンゴロウやイ  
 トトンボの類がやってきたのを捕まえたりしました。

東朝比奈と大道の町境は高低差があり、崖により隔たれていました。その崖地（斜面緑地）  
 に林が残されており（そのあたりの地形や様子は今もあまり変わらないですね）、そこが、  
 僕らの遊び場でもありました。どんな遊  
 びだったかというと秘密基地づくりや  
 探検ごっこが主でした…ただ、当時は  
 野犬があちこちにいる、それが本当に怖



### ヒガンバナ（彼岸花）

学名： *Lycoris radiata* (Selys, 1883)

和名の通り、秋の彼岸頃に開花する。根生  
 で地下に球根があり、侍従川では上流～源流  
 域で群生しているのを見る事が出来る。

墓地で見ることも多く、これは遺体を土葬  
 した時代、動物に遺体を掘り返されないよう  
 に植えたことからと言われている。

本種にはアルカロイド系の有毒成分が含  
 まれていて、動物はこれを嫌うようだ。

日本では死人草、幽霊草とも呼ばれ不吉な  
 花とされる事が多い。

また、韓国では彼岸花のことを「相思華」  
 ともいう。これは本種は花と葉が同時期に出  
 ない為「葉は花を思い、花は葉を思う」とい  
 う意味のようで、良く特徴を捉えた名前だと  
 思う。

深沢大地

かったので、山に入る時は必ず木刀を持って行きました。ただ、野犬に襲われた時は戦わずして走って逃げていました。また、山の敵は野犬だけではありませんでした…うるさい地主さんも僕らにとっては最大の敵で、山に入ってるのがバレてよく怒鳴られました。

そんな敵だらけ(?)の山ですが、秘密基地など以外にも僕らを引きつける魅力があり、その魅力ゆえ危険を冒してでも山に入るのでした。僕らを引きつける最大の魅力とは…それは、カブトムシやクワガタでした。夏の朝早くに行くとクヌギの木(たまにコナラの木)に樹液がしみでていて、そこにクワガタ、カブトムシがいるのでした…ただ、小さな頃はまだ経験値も浅かったからか、樹液で見つけるのは大概カナブンで、たまにコクワガタが捕れるだけでした。小学校高学年にもなると、カブトムシやノギリクワガタも捕れるようになり、夏は毎朝3時あるいは4時に起きて山でクワガタ捕りをしていました。そして、普通に友だちの家の玄関をたたいたり呼び鈴を押して、友だちの名前を呼んで「クワガタ捕りに行こう～」と事前約束もしないで呼び出して一緒に山に行きました。

僕らのテリトリーとして、一番捕れたのは大道小学校の裏山で、そこはなかなか広く、いい樹液ポイントもあったのですが、今はグレイスタウンとして開発されてしまったのが残念です(諏訪神社から六浦地区センターから六浦荘団地につながるエリアでした)。

それは、僕らが中学にあがり、クワガタ捕りなんかをしなくなった時期と重なっていました。

(つづく)

## トピックス

6/11(日)、18(日)NOTS(国際自然大学校)が侍従川で魚捕り…細川、深沢が対応

6/19(月)なりきり!むーにゃん生きもの学園(NHKEテレ)侍従川でロケ  
7/8(再7/13)、7/15(再7/20)に放映…山田が出演

7/1(土)大道小学校3年生が侍従川清掃…細川、西澤が対応

7/6(木)神奈川保育園が侍従川で川遊び…細川、西澤、関場、八木場が対応

7/6(木)湘南アイルド逗子保育園が侍従川でミニミニ水族館づくりプログラム…  
山田が対応

7/14(金)大道幼稚園が侍従川で川遊び…細川、西澤、関場、八木場が対応

7/18(火)鶴見あけぼの保育園が侍従川で魚捕り…西澤、八木場、山田が対応

7/20(木)六浦南小学校4年生が侍従川で魚捕り…細川、西澤、八木場、山田が対応

8/3(木)大道小学校はまっこふれあいスクールが侍従川で川遊び…飯村が対応

8/13(日)自然体験教育研究会NEESが侍従川親子魚捕り教室を開催

## 5月定例クリーンアップ

【活動報告1】

5月28日(日) 9:00~11:00 晴れ

細川一雄

実施内容：大道東橋～大道橋～朝比奈橋（土嚢袋4袋分回収、傘、雨どい、電気製品の基板等）

参加者：長野政治、八木場紀元、西澤博厚、角田繁、村田章夫、石渡博、徳丸東洋男、田辺香代子、関場俊子、小坂信房、遠藤ゆう、水野公秀、水野秀昭(小4)、徳永宗介、徳永哲郎(小3)、徳永琉平(年長)、小川和美、小川翔太(小6)、今井幸子、今井翔太(小6)、今井はるか(小3)、柴田繭子、柴田真菜(小6)、柴田幸成(小1)、金澤由香、金澤喜乃(中1)、深沢大地(高2)、高橋一太(中2)、貞廣宇保(小5)、細川一雄(計30名)

梅雨入りも近い5月の末。快晴ですが、五月晴れというには多少暑い、気温27℃でのクリーンアップとなりました。また、大道小学校の全校児童が5日前の5月23日に侍従川の清掃をしてくれました。今回は、いつもゴミを置かせてもらっている県営住宅跡地(大道町内会と共同で神奈川県から借用している空き地)の草が大分伸びて来たのでクリーンアップ終了後、草刈りを行なう事にしました。そのため大人グループは時間通りに上流の清掃に向かいます。

上流方面は、この頃大きなゴミがない為作業がはかどります。しかし、想像以上に早く伸びた草が気になり、つつい鎌で伸びすぎた草を刈り始めると時間が直ぐ経ってしまいます。また、セイタカアワダチソウも大きくなると抜きにくくなるので小さい物も小まめに引き抜いていくと、仲間から大幅に遅れてしまい、予定の早上がりができなくなっていました。皆から30分ほど遅れてちとせ園に着くと、下流の子ども達はすでに作業を終了していました。

その後、草刈り機を持って県営住宅空き地の草刈りを行ないました。ここは、毎年大道町内会の方々が草刈りをしてきていたので共同借用者として申し訳なく思っていたのですが、今回は侍従会で3分の1程ですが草刈りを行ないました。

ちとせ園に戻ると、先月に引き続き田辺さんが皆さんにお菓子・ジュース・ビールを差し入れてくれました。大変有難うございます。



ブックオフ上流(黙々と下を見ながら前進)



回収した土嚢袋9袋分のゴミ(傘、雨どい、塩ビパイプ)内5袋分は大道小学校の川清掃で回収したゴミ

## 会員のつどい

【活動報告2】

6月3日(土) 18:40~19:20 大道コミュニティ 河本充雄

今年もホタルの時期に合わせて、会員のつどいが開催されました。

例年どおり、昨年度の活動報告と会計報告・監査報告、今年度の活動計画案と予算案と続き、いずれも承認され、スタッフとして、学生部生物調査クラブに平川美央さん、ジュニア探検クラブに今井幸子さんと遠藤ゆうさんが新たに加わることも承認されました。

最後に、学生部の深沢大地君の「侍従川の浚渫がハゼ類の産卵に与えた影響と今後の保全について」(今年3月18日、早稲田大学早稲田キャンパスにて開催された日本生態学会東京大会でのポスター発表と同じ内容)の発表を聞いて閉会となりました。



ポスター発表の様子

## ホタル観察会

【活動報告3】

6月3日(土) 19:30~20:30 大道中学校 高橋一太

6月3日、毎年恒例ホタルの観察会がありました。

前年に比べて、時期が遅かったのかホタルの数はさほど多くなく少し寂しい観察会となりましたが、沢山の方々がホタルを観に来てくださいました。

そしてカネゴンがホタルについて説明していました。

僕もあれくらい説明できるようになりたいです。

来年はもっと観れるといいですね!

今年来た方も来れなかった方も、来年ぜひ来てください!



## 生き物発見記録

◎6月10日に侍従川流域にてヒラタクワガタ♂の死体を発見(金子・深沢)

何かに捕食されて腹部側半分のみでした。

◎侍従川上流部(横濱屋~BOOK・OFFの間)でカジカ

ガエルの鳴き声を学生部メンバーが確認。5月29日(平川)、6月7日(金子)、6月14日(深沢・高橋)、6月25日(金子・深沢・高橋)。

侍従川が本種の分布域から離れていることや、鳴き声が美しくペットとして人気が高いことから、逃がされた個体だと考えられます。6月25日の時点で最低2匹、恐らく3匹以上います。

例えば小さいカエルでも、元からいるのと同じ種類だったとしても、違う場所にいた生き物を逃がすのは絶対にやめましょう。



## 6月定例クリーンアップ

【活動報告4】

7月2日（日） 9:00～11:00 曇りのち小雨のち晴れ 細川一雄

実施内容：大道東橋～大道橋～朝比奈橋（土嚢袋6袋分回収）（便器の蓋、傘、突っ張り棒等）

参加者：長野政治、西澤博厚、八木場紀元、角田繁、中村健二、小池碧馬、石塚正夫、山田陽治、今井康祥、今井はるか（小3）、林正朗、林かなえ、林正隆、林友美、柏倉正和、柏倉智春、柏倉陽向（小5）、柏倉陽斗（小2）、浦信太郎、浦友美、柴田繭子、柴田真菜（小6）、柴田幸成（小1）、金澤由香、金澤喜乃、保坂裕美子、保坂匠美（小2）、保坂光紀（年長）、金子英司、深沢大地、貞廣宇保（小5）、細川一雄（計32名）

梅雨時の天気は全く気まぐれです。先週の天気予報も当初は晴れとの事で安心していましたが、急に予報が変わり、6/25は朝から雨の為中止。今回も曇りの予報が段々怪しくなり中止かと思いましたが、何とか曇りの予報となり決行しました。しかし9時過ぎに小雨が降るなどヒヤヒヤしながらの一日でした。

いつもの様に上流・下流に分かれて作業を開始します。上流方面は、梅雨の雨でゴミが下流に流されたのか、余りゴミがありません。上流の畑から落ちてきたのか？朝比奈橋下流で生きているモグラを見つけました。途中、セイタカアワダチソウを見つけては両手で根っこから引き抜きます。また青木橋の上流で1mほどのアオダイショウが擁壁を上っていきました。先日来、地域の人からアレルギーの原因になるオオブタクサガ川の中に生えているので抜いて欲しいとの要望がありました。丁度大道橋の下流に何本か生えていましたので根っこから引き抜きました。下流でも子ども達が何本か抜いてくれました。

下流には以前から長嶋橋の上流に便器の蓋が棄てられていましたので回収してもらいました。今回はクサフグとボラの大群に遭遇したようで何匹ものクサフグが水槽の中に入っていました。終了後にアイスキャンデーと飲み物・お菓子を食べてしばらく遊んでから解散しました。また、今回金澤さんから飲み物の差し入れを、中村さんからは4kgのタコ（釣行の成果）の酢漬けを頂きました。大変有難う御座います。



里野橋下流（斜面で滑らないように注意して）



1m程のアオダイショウ（擁壁を上っていきました）



長島橋上流の陸地に棄てられていた便器の蓋



回収した6袋分のゴミと便器の蓋、つかえ棒等

## いかだ川下り大会

7月16日(日)～17日(月・祝)

【活動報告5】

徳竹風樹

6月、大道中学校にて行われたホタルの観察会、今年はピークが過ぎてしまったのか1～2匹飛んでるかどうかと少し寂しいものだった。私は例年通り運営の手伝いをし、いつも通り終わった後に皆で夕食を食べに行った。そこで数年ぶりにイカダ川下りが開催されると聞き、心が踊った。

そもそも私がこの会に入ったのも、小学生の頃にこのイカダ川下りに参加して、この会の事を知ったからだ。しかしこの川下りは一時期から開催されることはなく、それが再開されると聞いて、心が踊らないはずがなく即参加希望。

それから開催されるその日までの日々は長く感じた。

月日は巡り7月16日、開催1日目、多少予想はしていたがやはり同年代はダイチぐらいしかおらず、それもスタッフ側なので、大半が小学生の参加者の中に1人だけ高校生がいるという状況に、若干の寂しさを覚えながらも、人数がそこまで少なくなく安心もした。

時間になると号令がかかり開会式、そしてその後チーム決め。私は高校生、更には参加者の中では(恐らく)一番の経験者の事もあったので自分からは作りに行かず、力関係と人数を見てキツそうなところに入った。

小学生低学年、高学年、高校生の三人という、アンバランスになった感じはあったが二人共すぐに馴染んでくれたので大丈夫だろうと思った。

オール作り、オールはまな板の半分程度の板と1m程の木の棒に穴を開け、そこに針金を通して固定する簡易的なもの。しかしそのシンプルさ故に様々な形の物がありそこに絵を描いている子もいたため、同じものは決してなく、旗も同じくチームごとに麻の布にそれぞれ絵や字を入れ、棒に取り付けるといったものなので同じものはなく、十人十色といったところ。

安全講習はビデオを見た後、川に入り、落ちた時等の対応などをやった。

二日目、いつもより少し早めに起きて万全の状態で行く。乗り込むところから待従橋まで少し離れているためそこ



まで漕いで向かうのだが、如何せん三人なのもあるが大、中、小ならまだしも特大、小、小のため懸念していた不安定さが出て侍従橋に着くまでも苦戦。

どうにか侍従橋に着き、全員が揃った所でスタート。

女子組と親子組は、絶好なスタートダッシュを切り開始5分も経たずに、その姿は小さくなっていった。

一方、我々と男子チームは大苦戦、進みこそするものの非常にゆっくりとしており次の橋につく頃には前と後ろのチームは既に見えなくなっており、流石にこのペースではマズイと思ったのでひたすらに漕ぐもののやはり進まず。

そしたら並走していたスタッフのユウさんのカヤックに積んであったオールに目をつけた2人が、ユウさんとジャンケン勝負をして3人とも勝てたら少しだけ貸してくれるといった勝負を提案し、ユウさんもこれを渋々承諾してくれて見事、完全勝利。それにより大分ペースを早めることに成功し、どうにか内川橋まで辿り着き、アクエリアスとチョコを貰う。

しかし個人的に一番の難所に差し掛かる。

内川橋から始まる関東学院大学前の直線。約900mの直線なのだが、両端は道路で往路樹もないため日陰は平潟橋まで一切なし、その上風は向かい風か無風、流れも皆無。暑さのため水に脚を入れようとすれば大量のクラゲが待ち構える。しかしそこまでに時間をかけたため時間制限が迫っていた。縦に並んでいたのを2人を横に並ばせ、自分が前でノンストップで交互に漕ぎ、2人にも左右で出来る限り全力で漕いでもらおう。

自分への負担が大きな自己犠牲ではあったが、時間切れのリタイアで終わるのは嫌だし、何よりゴール出来ずに2人を悲しませる事だけは自分のプライドが絶対に許さなかった。所々で2人に休憩を取らせつつ、直線を8割程度進んだ所で後ろを振り返ると、大分距離が開いていたはずの男子チームが直ぐそこまで迫っており、焦りを感じ漕ぐ速度を早めた。

平潟湾に抜けてからは男子チームとの接戦を繰り広げて



いた。最終コーナー、先に抜けたのは男子チームだった。僅差で私達が最終コーナーを回り最後の直線に。そしてゴール目前に迫った所で、突然体がグラつき私、落水。しかしそれがチャンスとなった、男子チームはゴールに着きはしたもののまだ上陸に手間取っており、私達の舟は後2m程の所。そのためそのまま船を引っ張り水の中を全力疾走、相手より先に旗を立てそのまま倒れる。我ながら大人気ないが、やはりここまで来たからにはドベだけは避けたかった。



その後、いかだを陸に揚げ洗浄し昼食をとった。

昼食の後は閉会式、内容は結果発表と表彰。正直な事を言ってしまうとその時少し寝てしまっていたり…

結果は我々のチームはブービー、まあゴールできただけでもよかったので妥当な結果だと。そしてまさか MVP に私が選ばれる嬉しい結果に。

最後に、私はこの企画に参加してとても良かったと感じています。ビリじゃないからとか、MVP に選ばれたとかではなく、最後までやり通した事、皆無事にやり通せた事。

もちろん前の二つも嬉しいけど、それ以上に後の二つが私の中では大きかった。

そしてこの企画を復活させてくれた実行委員会に深い感謝を。私としては今年で最後になるので、復活して最初のイベントで終わられた事はとても、とても嬉しかったです。

## 7月定例クリーンアップ

【活動報告6】

7月23日(日) 9:00~11:00 曇り

細川一雄

実施内容：大道東橋～大道橋～朝比奈橋 (土嚢袋6袋分回収) (便器の蓋、傘、突っ張り棒等)

参加者：長野政治、西澤博厚、八木場紀元、角田繁、中村健二、村田章夫、石塚正夫、長橋輝明、関場俊子、田辺加代子、寺尾勝廣、飯村優介、小川和美、小川翔太(小6)、片山愛結(小5)、小池碧馬、貞廣宇保(小5)、林友美、林かなえ(小5)、林正朗(小3)、金澤由香、金澤喜乃、山岸幹、柏倉正和、柏倉智春、柏倉陽向(小5)、柏倉陽斗(小2)、柴田繭子、柴田真菜(小6)、柴田幸成(小1)、海保結登(小4)、小林聡真(小3)、渡辺蓮(小4)、渡辺鷹(小4)、前田杏梨(小4)、渡辺亜矢、海保宏美、厚川真理亜、厚川遙香、厚川千裕(小2)、小野塚拓也、小野塚直洋(小1)、金子英司、深沢大地、高橋一太、細川一雄(計46名)



やっとカラ梅雨の梅雨明け宣言が出ましたが、宣言が出る前から猛暑続きで体が悲鳴を上げています。そんな時にちとせ園の倉庫が嫌がらせと思われる落書きの被害に遭いました。22日に連絡があり、現場を確認して大道交番に記録してもらいました（犯行は21日の夜間）。その後、白ペンキで補修しましたが、ポスターも1枚被害に遭っています。7月9日にも山王橋上流のポスターが折り曲げられたり、ちとせ園のポスターのチェーンが切られたりと、今年の年末・年始にポスターを悪戯した犯人がまた活動し始めたようです。



大道橋上流の清掃風景



回収した9袋分のゴミ

今回は寺尾さんがボーイスカウトの子ども達を連れて参加してくれました。いつもの様に2班に分かれて作業開始ですが、横浜市の補助金がまだもらえない為、土嚢袋が購入できません。土嚢袋が人数分ありませんでしたので、下流域の子ども達にはコンビニ袋にゴミを入れてもらうようにしました。上流部分は先日の豪雨でゴミが流されてしまったようで、余り目立つゴミが見つかりませんでした。

作業を早めに切り上げて、子ども達のお菓子と飲み物を買ってきて、ミニ水族館が終わった時に食べてもらいました。また今回は、夏に向けて皆さんに体力をつけてもらおうと、バーベキューを計画しました。また、少ない予算の中で食べ物が足りるか心配でしたが、田辺さんが差入をしてくれたおかげでなんとか足りました。さらに、大道幼稚園さんから14日の川遊びの際に頂いたジュース等の差入れがあり大変助かりました。

バーベキューの火起こしには大分苦労しましたが、二度三度と子ども達に手伝ってもらって何とか炭に火がついてバーベキューの開始です。肉を焼くのも子ども達が率先して手伝ってくれました。食べるのも同じ様に率先して食べていました（笑）。用意したウインナーは直ぐ売り切れてしまい、追加徴収して肉を購入しました。皆さん足りましたでしょうか？ また、子ども達は川で採取して残念ながら死んでしまったテナガエビとチチブを網で焼いて食べていました。テナガエビは真っ赤になり、チチブはこんがり焼けて、丸ごと食べられたようで、とっても美味しそうに食べていました。秋のハゼ釣りも、天ぷらではなく網焼きもありかな？ という気もしました。

今年も、丁度半分が終わり、この夏は猛暑のようですので体に気をつけてください。楽しい夏休みを・・・

8/5（土）～6（日）、野島でジュニアキャンプがありました。今年は実行委員会で進めていくことになり、会員限定で募集し、17名が集まりました。私は実行委員長を務めることになったのですが、実行委員会をとっても楽しみにしていました。色んなアイデアが出ると楽しいですよ。1人では思いつかないことも、何人かで集まれば1 + 1 = 3にも4にもなります。1人では味わえない、みんなで作り上げていく楽しさ = 醍醐味を実行委員になってくれたカネゴンたちに感じてほしいなと思ったのです。

キャンプ当日は、だいちゃんに乗った自転車が野島に向かう途中パンクするというハプニングがありました。良い天気にも恵まれ、みんなで協力して美味しいご飯も作れて、素敵なキャンプだったのではないのでしょうか。夜は展望台から八景島の花火が見えて、とてもきれいでした。大潮だったので翌朝アサリも捕れて、帰ってから酒蒸しとお味噌汁とパスタにしました。翔太：ヨウジウオが捕れたことが一番嬉しかった。それも二匹！テントをたてるのが大変だったけどがんばった。

はるか：一番楽しかったのは、ゆきのちゃんと海の深い所に入ったこと。食事の洗い物をがんばりました。

実は、3年前初めてジュニアキャンプに行ったとき、テントの争奪戦に敗れ、寝る場所がなくなり、1人で知らない人と蚊帳テントで寝る羽目になったカナシイ思い出がありました（今年は争奪戦はありませんでしたよ）。

それからジュニアキャンプには二度と行かない！と心に決めていましたが、実行委員長になって思い切ってキャンプに参加して良かったです。苦手だと思っけていても、逃げずに参加してみるものですね。今年参加できなかった方、来年はぜひ参加してみてくださいね！！



今年もこの季節がやって来た。8月26日、ヤンマとり大会。マルタンヤンマの捕獲を目指し、大人も子どもを網を振るう。

会場の瀬上市民の森は様々なトンボが飛んでおり、横浜にいるトンボのほとんどがここで見られるそうだ。

マルタンヤンマのオスは時速70kmで飛ぶとも言われる。マルタンヤンマを捕獲する事はこの大会の目標でもあり、捕獲に成功した者は文句なしにMVPとなる。



当日はあいにくの曇り空だったが、10回目の開催だった事もありみんな張り切っていた。しかし、広場へ行くまでの間に捕獲出来たのはシオカラトンボばかりだった。ここでコオニヤンマが採れたが、ヤンマ判定とはされず、カネゴンの採ったコシボソヤンマが初ヤンマとなった。その後はオニヤンマや、ヤブヤンマが採れたが、マルタンヤンマはあざ笑うかの様に空高くを飛んでいた。

今年もマルタンヤンマを捕獲する事は出来なかったが、楽しい思い出となった。来年こそはマルタンヤンマを捕獲出来るように頑張りたい。

### 2017年度学生部ホタル調査報告 in 大道溪谷

学生部では、今年も大道溪谷(大道中学校)にてゲンジボタルの個体数調査を実施しました。期間は5月24日(水)～7月5日(水)、毎週水曜日と土曜日の19:00～20:30まで15分ごとに温度・湿度/♂・♀の個体数を記録しました。

今年は、平年に比べピークが10日程遅れて、6月14日(水)の♂43頭、♀4頭が最大の出現数でした。昨年の調査では個体数が著しく減少(6月4日の25頭がピーク)し、不安を覚えていたところでしたが、回復傾向にあり、少し安心しています。これは、その前の2年間行えてなかった、冬季の整備作業を行えたことも関係していると思われます。今年度も整備作業は行いたいと思っています。また日程が近づきましたら、メーリングリストで会員の皆様へ告知します。皆様の参加お待ちしております。

金子英司



## 8月定例クリーンアップ

【活動報告9】

8月27日(日) 9:00~11:00 曇り

細川一雄

実施内容：大道東橋～大道橋～朝比奈橋（土嚢袋5袋分回収）

参加者：長野政治、西澤博厚、八木場紀元、角田繁、中村健二、石塚正夫、関場俊子、関場彩莉（年長）、関場らい（幼児）、外川忠志、山田陽治、飯村優介、大石剛司、小池碧馬、貞廣裕子、貞廣宇保（小5）、貞廣果南（小1）、柏倉正和、柏倉智春、柏倉陽向（小5）、柏倉陽斗（小2）、金子英司、深沢大地、高橋一太、細川一雄（計25名）

昨日金澤祭りの花火大会も終わり、夏休み最後の週末、子ども達は宿題の追い込みで忙しいためか、今年度で一番参加者数の少ないクリーンアップとなりました。今年の夏は20数日連続の雨が降り、涼しい日が続いたと思うと、数日前は台風13号の影響で35℃の猛暑日となるなど、どうも変な夏でした。

今月になってやっと、横浜市に申請（4月4日）していた補助金が入金され、早速足りなかった長靴1足と土嚢袋を購入しました。担当者が変わった為事務処理が遅れましたとの話でしたが、既に今年度の活動も半分近くが過ぎてしまい何の為の補助金かと思ってしまう。他の水辺愛護会の方も大変だったと思います。

上流・下流と2班に分かれて作業開始です。今回は大きなゴミが見当たらず、小さなビニールがほとんどでした。夏の草の伸びは非常に早く、場所によってはススキが山の様に大きく育ってしまっていました。さすがに少人数では刈り切れませんので、手は出さずにその他の大きく伸びた草やセイタカアワダチソウを抜いて下流に向かいます。今まで見つけるたびに根っこから引き抜いた成果が出たようで上流にはセイタカアワダチソウがほとんど生えていませんでした。

今年も、上流の護岸の草刈りを横浜市（金沢土木）にお願いして、10月末頃に実施してもらおうつもりです。作業を終わり、子ども達にはアイスキャンデーとお菓子とカルピス、大人には麦の飲み物を飲んでもらい火照った体と喉を潤してもらいました。



地藏前橋上流の清掃風景



里の橋下流の護岸の状況



大道橋上流の護岸の状況



回収した5袋分のゴミ

# ピカピカタンポポだより⑥

横浜市立大道小学校 鷺谷康子

## トンボ池のエコアップができました！

6月24日、大道小のうらにある、トンボ池のエコアップが行われました。今年の目標は、だいぶ、池の底の泥からのにおいがきつく、また、緑の藻もふえたことから、「ヘドロ化した泥をしっかりと撤去する」「ザリガニの駆除」「増えすぎた、ハスの選定」そして「生き物を守る」ことをめざしました。そのために、しっかりと水を抜き取り、重機にも入ってもらいました。天気にも恵まれあまり暑くない気持ちの良い日に、侍従会の細川さんや大道村の方々、岡さん、そして呼びかけに応じて参加してくれた大道小の在校生の親子や中学生が集まり、50名くらいの参加者で行うことができました。大道小の教職員、そして大道職員OBの伊藤先生、玉利先生も参加してくださり、作業がどんどん進みました。今年は、里山の番組をつくっている、NHKの方も取材に見えました。

作業は水抜きを朝8時から始めました。呼びかけた皆さんが集まった10時ごろから、ヘドロをバケツに入れて重機に集めて取り除く作業が始まりました。

生き物は、畳1畳くらいもある大きな水槽2つにどんどん入れて、メダカやドジョウ、藪にあったヒバカリの長いぬけがらなどもみつけ、たくさん保護・観察することができました。ザリガニはバケツに3杯くらい駆除しました。

昼ごろまでに、作業は終わらせ、水を少しもどしてから、生き物を戻しました。月曜日には、ほぼ、いつものトンボ池の様子もどりました。皆さんの力をお借りして、エコアップが終了しました。

本当に皆さんの力にはびっくりです。日常の学校の休み時間に子どもたちにこんなに身近に、自然に触れることができる宝物である、トンボ池の存在に、感謝を感じております。みなさま、ありがとうございました。



## 朝夷奈の森通信 ～森の忍者より～ 飯村優介

今夏はカラ梅雨と猛暑の後戻り梅雨。源流の森では昆虫相は平年の周期で出現したが、キノコ類は6～7月がきわめて少なく8月に大発生した。

8月9日は野生のタヌキに夕方出会う好運もあった。好運といえば美味しい夏キノコが見事で、タマゴタケ、ヤマドリタケモドキ、アカヤマドリと夏の名品がそろった。西洋ではキノコ狩りは夏が旬でこれら3種は最も好まれている。ヤマドリタケの加工品は年中スーパーにもあり値も高めた。



アカヤマドリ  
紀伊半島地域



ヤマドリタケモドキとアカヤマドリ、朝比奈地域

## 琉球生き物紀行 ～美ら島の生き物たち～ ～ アマミヤマシギ ～



学名：*Scolopax mira* 体長：36 cm  
分布：奄美群島、沖縄諸島

2017年8月  
鹿児島県加計呂麻島にて撮影

日本固有種の野鳥で、夜の林内を歩いていると地表に止まっている姿をよく目にする。近づくと不器用に飛んで逃げ、木の枝などに止まろうとするが、あまり上手ではない。3月から5月が繁殖期で2～4個の卵を産む。沖縄諸島での繁殖は確認されていないようで、主に奄美方面で繁殖した個体群が夏季に南方へ移動してきているとされている。近年野良猫やマングースによる被害が深刻になっている。

監修：熊井健（沖縄在住）

## 北の国から ～春から夏の野鳥調査～ 瀧本宏昭

今年の8月は曇りの日が多く、とても涼しかった。30℃になる日も少なかったため、横浜の夏を知っている自分にとってはとても物足りない夏となった。こうやって暑さ耐性が低くなっていき、夏の横浜に帰れなくなるのではないかと、ふと不安になる。そして、お盆を過ぎたころから一気に肌寒くなり、9月頭には最低気温が15℃ほどになる日もある。北海道の暖かい季節は本当に短いなとヒシヒシと感じる。

その短い期間でも生き物たちはしっかりと子育てをしており、その中で野鳥について調べるのが私の仕事のひとつだ。6月から8月の湿地や森林に入り、決められた場所を調査する。野鳥たちの多くはとても早起きのため、朝4時にセンターに集合して車で調査地へと向かう。調査地点に到着すると、野鳥たちは大合唱。その声や姿を確認できた種類を記録用紙にメモしていく。湿地（草地）でよく記録されるのは、コヨシキリ、ノビタキ、オオジュリン、マキノセンニュウなど。森林では、ハシブトガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、アオオジ、アカゲラなど（写真がなくてごめんなさい）。野鳥たちも環境によって見られる種類が異なるため、森林と湿地では全然違う内容の記録用紙ができあがる。夜に湿地の中に入ることもあるが、また別の機会に書きたいと思う。この時期にウトナイ湖周辺で観察できる野鳥の種類数は約100種類が記録されている。横浜では観察できない草地にすら野鳥も多く、昨年練習のためにはじめてきた時には、少し涙目になったのを覚えている。



森林、背の高いササやぶは少ない



草丈が高い湿地



霧の草丈が低い湿地に行く

## 侍従川定例調査報告 学生部

2017年5月28日(日) 9:30~11:30

【調査範囲】六浦二号橋～第二山王橋

【確認した生物】チチブ、ウキゴリ、スミウキゴリ、ビリンゴ、マハゼ、アユ、フナsp、ミゾレヌマエビ、テナガエビ、クロベンケイガニ、モクズガニ、ハグロトンボ(幼虫)、ヤマサナエ(幼虫)、コシボソヤンマ(幼虫)、ギンヤンマ(成虫)、コオニヤンマ(羽化殻)、スッポン(目視)、ミシシッピアカミミガメ、ニホンヤモリ、カワナ、イシマキガイ、カワセミ、カルガモ

【備考】甲長30cm程(?)のスッポンが確認されました。

最近侍従川での目撃例が多い個体と思われます。

7cm前後のアユが20匹以上確認されました。

ハグロトンボの幼虫が沢山見つかりました。終齢幼虫もいたため、そろそろ成虫が見られると思います。

細川さんから、ちとせ園前と長島橋付近の2ヶ所にオオブタクサが生えていると聞きました。ちとせ園前の一株は見付けられたため駆除しましたが、長島橋付近では確認出来ませんでした。



## 事務局だより

### ◆10月～12月の活動予定◆

☆定例クリーンアップ10/22(日)、11/26(日)、12/24(日)

9時～12時ちとせ園集合 ※雨天延期・翌週日曜

持ち物：川に入れる格好、タオル、軍手(必要な人)、網(使いたい人…貸出あり)、着替え(心配な人) ※川の上からの参加でも構いません

☆10/1(日)ハゼ釣り大会 9時大道小集合 15時頃ちとせ園解散 ※雨天中止

持ち物：釣具&釣竿(ない人はご連絡ください)、昼食(買い弁可)、飲み物、帽子、タオル、レジャーシート(必要な人)、ウエットティッシュ(必要な人)、箸&皿、

参加費：非会員のみ¥500 ☆要申込み…参加人数、竿(竹竿)レンタル数、緊急連絡先(雨天中止連絡アドレス)を記入の上、jijyukai@gmail.com(侍従会郵便局)へ

☆11/5(日)秋の森探検～秋の恵み探しハイキング

9:30大道小集合 午後…ちとせ園で調理 参加費：非会員のみ¥300 ※雨天中止  
持ち物：山歩きしやすい格好、キノコなどを入れる袋、箸&皿、昼食(買い弁可)、飲み物、タオル、軍手(必要な人)、レジャーシート(必要な人)、その他

☆12/9(土)冬の森たんけん 9時大道小集合 参加費：非会員のみ¥100

持ち物：山歩きしやすい格好、長靴(負担にならない人)、小さな網(使いたい人)、昼食(買い弁可)、飲み物、軍手、剪定ばさみorナイフ(ある人)、タオル、レジャーシート(必要な人)、レジ袋(ゴミ入れなど)、その他 ※雨天中止

■学生部では、上流・源流調査、水鳥調査、大道溪谷の保全作業を計画しています。詳細はメールリングリストでお知らせします。

《編集後記》 今年、いかだ川下り大会が6年ぶりに復活しました。参加者の皆さんは、ますます侍従川が身近になったのではないのでしょうか。(MK)

ふるさと侍従川に親しむ会

事務局：金澤 由香

TEL：090-4072-8485

e-mail：jijyukai@gmail.com